

# CLAIR トピックス

——最近のクリアの動きや所管国の状況などを短くまとめて紹介します



## ニューヨーク事務所

### JNTO ニューヨーク事務所と連携し MICE 関係者とのネットワーキングイベントを実施

北米での会議・インセンティブ旅行のバイヤー向けに開催される国際的な MICE イベントである SMU International (Successful Meetings University International) が 2025 年 3 月 10 日から 12 日にかけてニューヨークで開催されました (主催: Northstar Meetings Group)。

この機会を捉え、日本に関心を寄せるミーティングプランナー (国際会議を取り扱う担当者) を日本政府観光局 (JNTO) ニューヨーク事務所が個別に招待し、クリアニューヨーク事務所の一角でネットワーキングイベントを実施しました。

イベント内では、JNTO 職員によるプレゼンテーションが実施され、MICE デスティネーションとしての日本の魅力が食やコンベンション施設などさまざまな角度から発信されました。クリアニューヨーク事務所からは、日米間の自治体における姉妹都市数の多さや日々の業務上の取り組みを報告するとともに、MICE 関連分野における日本の地方自治体支援の状況についても伝えました。

会場には、扇子や盆栽といった彩りが加えられたほか、ケータリングとして日本食も提供されました。また、アメリカから日本への往復航空券と日本での宿泊チケットが当選する抽選会も実施されたことで、会場は大いに盛り上がりました。

クリアニューヨーク事務所では、このような機会を得たネットワークを生かし、北米における MICE 事業支援についてもさらに積極的に取り組んでいきます。



装飾された会場の様子



各登壇者の説明を熱心に聞く来場者



## シンガポール事務所

### 海外自治体幹部交流協力セミナーに所管国から 7 カ国 11 人が参加

2025 年 2 月 9 日から 15 日にかけて、クリア交流親善課の主催する「海外自治体幹部交流協力セミナー」が開催され、シンガポール事務所の所管国 7 カ国 (インドネシア、マレーシア、タイ、ベトナム、カンボジア、インド、スリランカ) から 11 人が参加しました。

本セミナーは、海外の自治体などの幹部職員を日本に招聘し、日本の地方自治の現状・課題に関する講義や視察を通して意見交換を行うことにより、互いの地域の理解を深め、人的ネットワーク構築を推進することを目的に実施しています。

今回は、日本の地方自治制度などの講義を行う「東京セミナー」と兵庫県養父市に舞台を移しての「地方交流事業」の 2 部構成で実施されました。

養父市は国家戦略特区の指定を受け、規制緩和を活用した農業や公共交通の取り組み、豊かな自然環境を生かした観光事業などを進めています。このたび、「地方創生の最前線 兵庫県養父市の持続可能なまちへの挑戦」のテーマのもと、農業法人によるハウス栽培施設や食品製造施設、歴史的・文化的価値を持つ施設などを視察するとともに、スキーリゾートや自動運転バス乗車などさまざまな体験を提供いただきました。意見交換では地方の人口減少対策、農業の担い手確保など関連な議論が交わされました。

参加者は、少子高齢化のなかで地方創生に向けた取り組みを進める養父市で学んだこと、その体験を帰国後に自らの職場などで共有したいと話していました。今後も本セミナーが受入自治体および所管国の参加者にとって交流の契機となるよう、そして互いの学びの一助となるよう、クリア全体で取り組んでいきます。



養父市長と参加者による集合写真



農業法人によるハウス栽培施設の視察





## 北京事務所

### 香港で福井県の活動支援を行いました！

2025年1月、福井県が香港のイオンで開催した県産品の販売PRイベント「福井フェア」にあわせ県担当者が現地を訪問し、フェアの現場で消費者の声を聞き取ったほか、現地の小売店、百貨店での市場調査やバイヤーとの商談を行いました。クリア北京事務所では、福井県からの依頼を受け、アテンドや通訳などの支援を行いました。

フェアでは、福井県産のせいこがに（メスのズワイガニ）や押し寿司、日本酒、長ネギなどの野菜が販売されました。シイタケや長ネギは、現地のものに比べ高価でしたが、大振りで形が良いことを評価され、早々に売り切れていました。一方で、せいこがには味や調理方法を伝えることが難しく、今後の課題となりました。

日本貿易振興機構（JETRO）香港によると、「香港の輸入食品市場は、日本の割合が高いと思われているが、実際は全体の10%以下であり、まだまだ伸びる余地のある魅力的な市場である」とのことでした。

クリア北京事務所では、引き続き日本の自治体が実施する食品の販路拡大に係る事業を支援して参りますので、活用をご検討ください。



福井フェアに県産品が並んでいます



好評だった長ネギ



## ロンドン事務所

### 「英国 JETAAUK 年次総会」に参加しました

2025年3月1日および2日、「英国 JETAAUK 年次総会（AGM）」に参加しました。本会は各 JET 支部が抱える運営上の問題などを一堂に会して議論し、支部活動を円滑に進めることを目的として行われる会議です。今年度はクリアロンドン事務所で開催され、英国内支部の役員、クリア東京本部・ロンドン事務所職員、在英日本大使館の担当者を含む計23人が参加しました。

総会では、各支部からの活動報告や、JETAAUK 英国国代表および在英日本大使館からの情報共有が行われ、クリアからも来年度の事業について報告したのち、開催予定の JETAA 国際会議や2年後に控える JET プログラム40周年、JET 報酬の引き上げに関する情報共有などを行いました。また、JET プログラムに関する意見交換も実施しました。

AGM は各 JETAA 支部役員と直接意見交換のできる貴重な機会であり、本会を通じて各支部が JETAA（元 JET 参加者の会）活動の活性化に尽力いただいている様子を垣間見ることができました。今後もクリアロンドン事務所は各支部とのコミュニケーションや支援などを通じて、連携を強化してまいります。



年次総会の様子



参加者の集合写真



## ソウル事務所

### 第4回クリアソウルセミナー（ソウル編）

クリアソウル事務所は、韓国駐在の地方公務員を対象に2025年3月7日、第4回クリアソウルセミナーを行いました。

2024年度最後となる今回のセミナーでは、日本貿易振興機構（JETRO）ソウル事務所から前川直行所長、日本経済新聞ソウル支局から藤田哲哉支局長を講師に招き講義をいただきました。

前川所長からは韓国の経済事情や日韓貿易の現状、スタートアップ交流などをご説明いただき、藤田支局長からは韓国国内の政治動向やこれからの日韓関係について現地での取材の様子を交えてお話いただきました。どちらも時宜を得た内容で高い関心が寄せられ、講義後には受講者と盛んに意見交換が行われました。

2025年度もクリアソウルセミナーの開催を予定しています。韓国に駐在する自治体職員にとって役に立つセミナーを開催するとともに、韓国の自治体を訪問する機会をつくり、日韓の自治体職員が直接交流することができる有意義なものとなるよう引き続き取り組んでまいります。



セミナーの様子



## パリ事務所

### 「Japan Expo Sud」に初出展し、日本の魅力をPRしました！

2025年2月21日から23日にかけて、フランス南部のマルセイユで「Japan Expo Sud（ジャパン・エキスポ・シュッド）」が開催され、クレアパリ事務所は今回初めてブースを出展しました。「Japan Expo」は、日本の漫画・アニメ・ゲーム・音楽・ファッション・武道・食・伝統文化など、多彩な日本文化を紹介するイベントです。毎年夏にパリで開催される欧州最大級の日本文化イベントとして知られていますが、マルセイユでも2009年から毎年開催されています。

今回のイベントでは、日本政府観光局（JNTO）と連携し、パンフレットの配布などを通じて日本各地の魅力を発信しました。来場者の多くは若年層で、地方開催ということもあり、日本を訪れたことがない方が多く、日本文化を知っていただく貴重な機会となりました。また、フランス国内で高い知名度を誇る本イベントへの出展により、南フランスの皆さまに日本の魅力を広くPRすることができました。

クレアパリ事務所は、今後も関係機関と連携しながら、日本の自治体や地域の魅力を積極的に発信してまいります。



JNTOとクレアの出展ブースの様子



在マルセイユ総領事館による書道体験の様子



## シドニー事務所

### インターンシップ研修で州政府や自治体の施策を学びました！

クレアシドニー事務所では、勤務2年目の職員が数日から1週間程度、オーストラリアまたはニュージーランドの自治体などに一人で赴き、さまざまな部署や施設の訪問を通じて、当該地域の事情や課題を肌身に感じながら、訪問先の日々の仕事の進め方や意思決定の方法などを直接学ぶインターンシップを研修の一環として実施しています。2024年度にこの研修の対象となっていた職員5人全員が、各自の関心分野を州政府や自治体の現場で学びました。

このうち、2025年2月17日から18日にかけてクイーンズランド州ウェスタンダウンズ・リージョナル・カウンシルを訪問した職員は、地域コミュニティが地域経済の発展にどのように寄与するのか学びました。州都ブリスベンの西約210kmの内陸部に位置する現地では、企業誘致などのため、また移住者が安心して暮らせるようコミュニティを強化していました。広大な域内ではインターネットのインフラ整備が課題となっており、住民が遠隔で大学の授業を受けられるよう設備の整った地方大学センターを開設するなどの手厚い取り組みが見られました。



訪問先の自治体職員と意見交換をするシドニー事務所職員



新たに開設した地方大学センター



## 交流親善課

### プロトコールセミナーを開催します！

国際関係業務に携わる自治体職員の国際儀礼（プロトコール）に関する知識の向上を目的として、オンラインによるプロトコールセミナーを開催します。外務省大臣官房儀典賓客室首席事務官の小澤誠氏を講師に招き、表敬訪問におけるプロトコールの基本知識や、海外からの来客の正しい対応についてご説明いただきます。

セミナーの詳細や参加登録の方法などは、以下のホームページで順次お知らせしていきます。多くの自治体関係者の皆様のご参加をお待ちしております。

開催日時：2025年5月28日（水）14：00 - 15：30（予定）

開催方法：オンライン（Zoom）

テーマ：表敬訪問等における国際儀礼（プロトコール）について

ホームページ：[http://www.clair.or.jp/j/exchange/shien/online\\_seminar.html](http://www.clair.or.jp/j/exchange/shien/online_seminar.html)





## 経済交流課

### 海外での地域産品のテストマーケティングを実施します！

クリアでは、海外へ進出しようとする地域の事業者支援を行う自治体のために、地域産品のテストマーケティングと販路開拓を目的とした「日本ふるさと名産食品展」(物産関係支援事業)を開催しています。

お申込みは6月6日(金)までの予定で受け付けておりますので、出展をご希望の皆様は、奮ってご応募ください！

#### 【2025年度日本ふるさと名産食品展 概要(予定)】

##### ○対象者

食料・飲料品を製造または販売する日本国内の法人・団体(卸売業者は除く)

- ✓ 海外販路開拓に初めて挑戦する方
- ✓ 輸出入の実務的な手続きを体得したい方
- ✓ 北米市場での販路開拓を目指す方

##### ○開催日時

LA: 2025年11月14日(金)から15日(土)まで

NY: 2025年11月21日(金)から23日(日)まで

##### ○出展規模

各会場10事業者(50品目)程度

※全米最大級の日系食品物産展「ジャパニーズ・フード・エキスポ」の開催期間中に、同会場内での実施を予定

※詳細は以下のURLをご参照ください。

<https://economy.clair.or.jp/activity/exhibition/>

■お問い合わせ 経済交流課 Tel: 03-5213-1726 Mail: keishin@clair.or.jp



2024年度の食品展会場の様子

## 多文化共生課

### JIAM 共催研修で多文化共生のスペシャリストを目指そう

クリアでは、日本に住む外国人に関する現状や課題への理解を深め、多文化共生社会の実現に向けた事例や知識の習得、多文化共生推進の担い手同士の連携促進を目的として、全国市町村国際文化研修所(JIAM)と共催で多文化共生研修を行っています。

「多文化共生の地域づくり」や「外国につながるを持つ子どもたちへの学習支援」など、多文化共生に関する4つの研修を実施し、研修費などの助成も行っています(助成対象者には条件があります)。

多文化共生に関する専門知識の習得やスキルアップ、ネットワーク構築などを目指し、ぜひ積極にご参加ください。

※詳しくはホームページをご覧ください。

<https://www.jiam.jp/workshop/list.html?y=2025> (研修について)

■お問い合わせ

多文化共生課 Tel: 03-5213-1725 Mail: tabunka@clair.or.jp



2024年度のJIAM共催研修の様子

## JETプログラム事業部

### PA 交流部屋を毎月開催しています

JETプログラム事業部では、毎月下旬にPA(取りまとめ団体アドバイザー)に向けて「PA交流部屋」をオンラインで実施しています。JETプログラムでは、全国の都道府県・政令指定都市に、PAとして日本人担当者とJETプログラム参加者がそれぞれ1人以上配置されており、現役JETプログラム参加者や任用団体に対しての情報提供、相談対応、オリエンテーションや研修企画などの業務を担っています。PA交流部屋では、PA同士がディスカッションしながら業務上の課題や解決方法を共有し、JETプログラム参加者へのサポートを向上させることを目的としています。交流部屋には、毎回、全国各地のPAが10から15人参加しています。

3月に開催した交流部屋では、クリア職員の進行により、任期満了者・新規来日者のサポートや任期満了者向けの研修の運営をテーマに、PA同士が活発に意見交換していました。PA交流部屋のテーマは多岐にわたります。今までに、イベント企画、メンタルヘルス、JETコミュニティへの関与、新規JETプログラム参加者へのサポートなどをテーマとして取り上げました。現役JETプログラム参加者などをサポートする重要な柱として活躍するPAですが、彼ら自身のサポート・ネットワークも必要です。気軽に意見交換できるPA交流部屋が、PA同士のサポート・ネットワークを築く場となることを期待しています。



PA交流部屋の様子